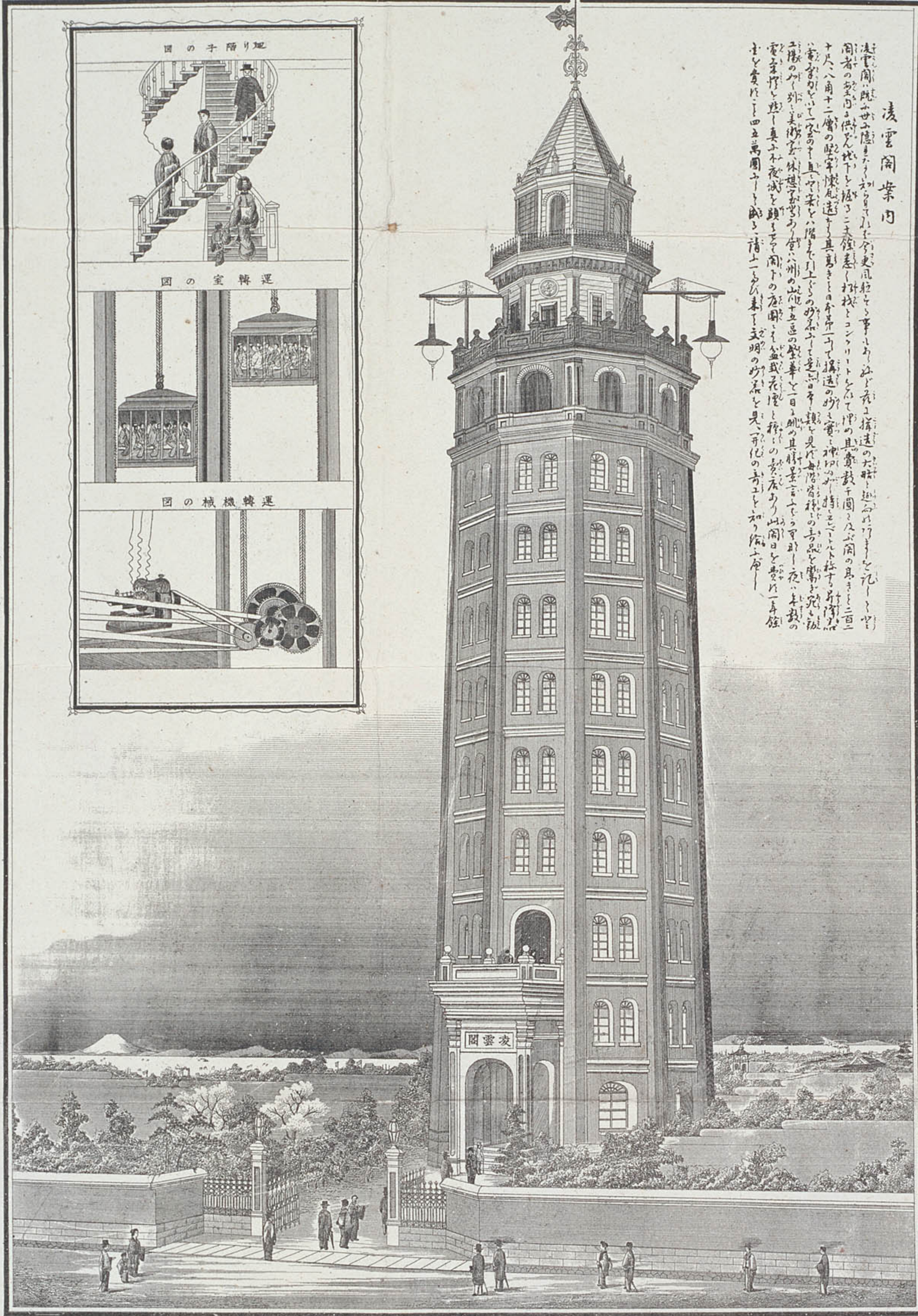


大日本凌雲閣之心圖

拾階直立百載尺



凌雲閣案内
 凌雲閣は、大日本帝國の第一の高層建築として、明治二十一年（西曆一九〇八年）八月十二日に竣工した。其の高さは、地上から計ると、百一十二メートルに達する。この高層建築は、當時の建築技術の進歩を示すもので、日本の近代建築の発展に大きな貢献をした。この閣には、エレベーター、自動昇降機、そして機械式の送風機などが備えられている。また、この閣には、大日本帝國の歴史や文化に関する展示も設けられている。この閣は、大日本帝國の象徴として、多くの人々を魅了している。

明治二十一年十月六日印刷出版
 同年十二月廿日印刷訂正出版

版權所有

73-14

8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1